

隠岐の歌姫★海士出身民謡歌手の国村千鳥さん登場

記念フェスティバル大盛況!



郷里の同級生らによる三味線に乗り、艶やかな唄声が会場に響いた

「これからも、命ある限り海士町を愛し、キンチャモニャを世界に普及したい」と海士への想いを語って下さった千鳥さん



体育館には大勢の観客が



同日午後2時からは、海士中学校に会場を移し『海士町町制40周年記念フェスティバル』が開催されました。

まずは海士町北分出身の民謡歌手・国村千鳥さんの「ふるさとコンサート」の登場するやいなや、会場から「ちどりちゃん」の歓声が飛び交いました。

国村さんは、「40周年、誠におめでとうございます。今日はほんとに夢のよう。海士町に生まれてよかった。これからも、ますますのご発展を祈って今日も頑張ります！」と観衆に挨拶し、隠岐民謡の数々を高らかに歌い上げました。また、民族芸能文化連盟(民文連)の新倉武理事長が海士町にお祝いの気持ちをこめて作曲して下さった「新・海士町音頭」もお披露目。しつとりとした新曲「隠岐慕情」とあわせて、これからの定番ソングになりそうです。

ステージには、国村さんの同級生の皆さんや民文連舞踊団「若竹」の皆さん、また、同じく日本を代表する民謡歌手で国村さんの師匠でもある小沢千月さんも出演し、迫力のパフォーマンスを展開。素晴らしい唄声と踊りで、約5000人の聴衆を酔わせました。

受賞者氏名 ※順不同敬称略

- 《地方自治》 石倉 郁郎、竹谷 範雄、今木 太、山中 健次、榊原 信也、亀谷 潔、古濱 正之、福山 雄三、藤田 忠弘、島津 昭造、橋本 剛幸、若林 宣男、扇谷 光恵、柏谷 洋
- 《産業振興》 海士いわがき生産株式会社、農事組合法人サンライズうづか、飯古建設有限会社 定置網事業部、有限会社隠岐潮風ファーム、岡部株式会社、中山 忠範、戸嶋 正史、銭谷 トシ子
- 《福祉》 田中 久夫、田中 美紗子、武田 倬、風間 成泰、中前 文雄、寺下 雅人、野津 明子
- 《教育文化》 石塚 芳秀、大森 芳信、花岡 美近、小出 信隆
- 《観光振興》 小沢 千月、下田 竹雄、新倉 武、国村 千鳥、高根 俊夫
- 《環境》 海士町環境を良くする会、松島ダイビング推進協議会、上田 正子
- 《善行》 瀧本 博、門山 常三郎



中野勝枝さんによる踊り「亀菊物語」



河野琴乃さんによる踊り「朝顔日記」

同日午後5時からはいよいよ、『島まるごと民謡・芸能大会』です。海士町内の各地区からエントリーした合計15の個人・団体が、歌や踊り、そして道中神楽まで披露し、「芸達者」な海士人の実力をいかになく発揮。多芸自慢の海士人によるバラエティ豊かな演目に、会場は大いに沸きました！



迫力満点の和太鼓。かわず会の「三宅・ぶち合わせ」



菱浦区の男女による「関の五本松」。実は男衆は、「エア尺八&太鼓&三味線」！

東区の女性による踊り「承久の千本桜」。あでやかさで観客を魅了



海士版★千月&千鳥



本物



つむぎやのばあちゃん・今昔物語。

(中里区有志による寸劇「海士の工事諏訪麻呂」より)



大喝采をあげた、海士弁まるだしの寸劇。魚を売り歩くつむぎやの齊藤チトリさんの「昔」と「今」を巧みに描写し、服や道具は「進化」したけれど今も変わらないふれあいの大切さを伝えてくれました。

「海士のいいところ、を実感して嬉しくなった人も多いのでは。」